

事業を通じて創出する社会価値

川崎重工グループでは、2017年度に重要課題(マテリアリティ)※を特定する中で、グループとして長期で達成すべき最重要課題を、事業を通じて創出する社会価値「陸・海・空における安心・安全、クリーン、快適な移動・輸送手段の提供」「クリーンエネルギーの創出」「新興国を中心とした社会インフラの充実」「自動化による高齢化・

労働力不足への対応」として明確にし、同時に貢献すべきSDGsの項目を決定し、2030年までに達成すべき非財務目標を定めました。達成状況を定期的に開示しながら、社会価値の最大化と持続的な成長を目指すとともに、SDGs(Sustainable Development Goals)の達成に貢献していきます。 ※重要課題(マテリアリティ)についてはP.53をご覧ください。

| 創出する社会価値 | 該当するSDGs | | 部門 | 2030年の目指す姿 | 2030年の目標/KPI | 取り組み状況 |
|---|---------------|---------|-----------------------------|---|---|--|
| | 共通 | 個別 | | | | |
| 陸・海・空における 安心・安全、クリーン、 快適な移動・ 輸送手段の提供 | 3 7 11 | 9 13 | 船舶海洋 カンパニー | LNG燃料船の普及により、船舶が排出する窒素酸化物・硫黄酸化物を大幅に低減させます。また、大型液化水素運搬(燃料)船の開発・建造を行い、CO ₂ フリー社会の実現に貢献します。 | <ul style="list-style-type: none"> LNG燃料船・大型水素運搬(燃料)船の建造隻数：1隻(年間) LNG燃料供給システム(FGSS※)の受注：複数件(年間) <small>※ FGSS: Fuel Gas Supply System</small> |  P. 31 |
| | | | 車両 カンパニー | 安全性、快適性、信頼性が高く、ライフサイクルコストにも優れ、省エネルギーで環境負荷の小さい鉄道車両の製造を通じて、グローバルな輸送インフラの拡充に貢献します。 | <ul style="list-style-type: none"> 車両納入両数：1,000両 車両メンテナンスの効率化・スキルレス化、安全安定輸送の維持・向上、および鉄道事業者が提供するサービス・付加価値の向上への貢献 |  P. 33 |
| | | | 航空宇宙システム カンパニー | 環境性能に優れ、高い安全性と信頼性を兼ね備えた航空輸送システムを提供します。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した航空機、ヘリコプタおよびエンジンの提供と開発参画範囲の拡大 |  P. 27 <small>©Rolls-Royce plc 画像提供：ボーイング社</small> |
| | | | モーターサイクル & エンジン カンパニー | 「走る喜び・操る楽しさ」と先進的なライダーサポート機能を有するモーターサイクルおよびクリーンなモーターサイクルを開発・製造・販売します。 | <ul style="list-style-type: none"> 協調型高度道路交通システム(C-ITS※)などの先進的なライダーサポート機能を有するモーターサイクル、および電動バイクやハイブリッドバイクなどのクリーンエネルギーで駆動するモーターサイクルの提供 <small>※ C-ITS: Cooperative Intelligent Transport Systems</small> |  P. 35 |
| クリーンエネルギー の創出 | 9 12 13 | 7 8 | 技術開発本部 | 水素基地・液化システム・運搬船・水素燃料のガスタービンなどの機器を提供し、液化水素輸送インフラのシステム・パッケージ・サプライヤーとして、水素社会の進展に貢献します。 | <ul style="list-style-type: none"> 水素エネルギー使用によるCO₂排出削減量：300万トン 水素輸送量：22万5千トン(年間) |  P. 25 |
| 新興国を中心とした 社会インフラの充実 | 7 8 11 | 9 13 | エネルギー・ 環境プラント カンパニー | エネルギー・環境分野を中心に、高い製品開発力・製造技術力とエンジニアリング能力を基盤とした技術・品質により地球環境保全に貢献し、かつ顧客満足度の高い製品・サービスをグローバルに提供し、特色ある機器・システム・プラントメーカーとなります。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界最高効率・環境性能機種による、分散型電源市場でのシェア拡大 高効率・省エネルギーの発電設備・機器類、インフラ関連設備、環境関連設備のコンスタントな提供 |  P. 29 |
| | | | 精密機械 ビジネスセンター | 当社の油圧機器・システムの世界標準化、安定生産・供給を目指します。人と環境にやさしい次世代建機の開発をサポートすることで新興国を中心とした社会インフラの充実に貢献します。また、省エネルギー製品、水素対応製品、再生可能エネルギー対応製品などの開発・販売を推進し、環境負荷低減に貢献します。さらに、ICT・IoT・AIなどの新技術と当社のロボット技術・油圧制御技術を融合し、新たな価値を創造します。 | <ul style="list-style-type: none"> 油圧機器生産・納入量：140万個 |  P. 38 |
| 自動化による高齢化・ 労働力不足への対応 | 3 8 | 3 8 | ロボット ビジネスセンター | 高齢化が進む先進国において、医療用ロボットの開発により、質の高い医療へのアクセスを容易にするとともに、ロボット技術を活用し、医薬品製造、介護医療、人体への負担が少ない治療法を開発する医療関係の皆様をサポートします。また、人協調型ロボットなどの開発・製造、その知能化により、先進国を中心とする労働力不足を補います。 | <ul style="list-style-type: none"> ロボット納入台数：10万台 |  P. 38 |